

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	2	学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	2	学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策名称	1	生涯各期に応じた学習機会の提供		
施策の 方向性		●生涯各期に応じた学習機会を提供するとともに、学習活動で得た成果をボランティア活動や地域の指導者として活かす仕組みづくりを目指します。 ●家庭教育を支援する学習プログラム講座を開催するスタッフの養成、核となるリーダーの育成を行うとともに、公民館を中心として学習・交流機会を提供します。 ●情報拠点としての図書館活動を推進し、幼児期からの読書活動の定着による子育て支援を行うとともに、ボランティアの育成や交流を通じてボランティア活動の活性化を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	生涯学習活動数	件	目標値		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
			実績値	1,183	820	1,205	1,121		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	
	（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	目標は未達成でした。 昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、臨時休館等により開館日数が減少しましたが、開館時には感染対策を十分に行い、運営しました。
R4	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け各種事業を中止しましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、活動者の理解と協力を得て事業を実施したことにより、活動数は増加しましたものの、目標値を下回りました。
R5	コロナ禍により学習の体制や環境が変化したこともあり、生涯学習活動数は上昇傾向とはならず、3年連続目標値未達成となりました。
・評価及び対応方針	
R3	今後も、引き続き来館者が安心かつ快適に利用できるよう環境整備に努めます。
R4	今後も、引き続き来館者が安心かつ快適に利用できるよう環境整備に努めるとともに、利用者ニーズに応じた講座を実施していきます。
R5	目標値は未達成となりましたが、公民館や図書館において、生涯各期に応じた学習機会は十分に提供できているものと考えており、継続して目標値を目指すことで、更なる社会教育の充実に図ります。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	公民館活動事業	1,658	2,529	1,802	5,989
2	図書館活動事業	14,332	13,170	12,936	40,438
3	ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト事業	0	130	105	235
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		15,990	15,829	14,843	46,662

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 事務事業評価シート				
1. 基本情報				総合戦略
事務事業の名称	公民館活動事業	事業番号	221101	
担当部署名	教育委員会	社会教育課		
政策体系				
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり			
基本施策	2:学び合い生きがいを育む社会教育の充実			
単位施策	1:生涯各期に応じた学習機会の提供			

2. 活動実績

年度	活動実績
R3	○ 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施しました。 ・乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（75回1,683人） ・青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（134回1,937人） ・成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（242回1,668人） ・高齢者を対象にした、学習会生きがいがづくり、地域社会への参画の機会の提供（135回2,053人） ○ 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 ・定期活動グループや地域団体等との協力連携事業の企画実施（22回780人） ・多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（324回840人） ○ 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（3回49人）
R4	○ 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施しました。 ・乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（125回2,998人） ・青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（158回2,508人） ・成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（139回2,997人） ・高齢者を対象にした、学習会生きがいがづくり、地域社会への参画の機会の提供（204回3,778人） ○ 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 ・定期活動グループや地域団体等との協力連携事業の企画実施（31回10,111人） ・多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（402回1,001人） ○ 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（37回502人）
R5	○ 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施しました。 ・乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（119回3,896人） ・青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（186回2,352人） ・成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（116回2,865人） ・高齢者を対象にした、学習会、生きがいがづくり、地域社会への参画の機会の提供（217回3,972人） ○ 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 ・定期活動グループや地域団体等との協力連携事業の企画実施（26回15,408人） ・多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（301回853人） ○ 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（63回1,292人）

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	活動者数(府中公民館)	人	目標値	9,000	19,800	19,900	20,000	20,100
			実績値	3,931	15,736	19,664		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
②	活動者数(府中南公民館)	人	目標値	15,650	15,700	15,750	15,800	15,850
			実績値	5,079	8,159	10,974		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
指標の設定方法		生涯学習各期に応じた学習・交流機会の提供が目的のため、活動者数を指標としました。						

4. コスト情報（決算）

（単位:千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	1,658	0	0	0	0	1,658
R4	2,529	0	0	0	0	2,529
R5	1,802	0	0	0	0	1,802
合計	5,989	0	0	0	0	5,989

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析	
	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響のため、事業や活動を中止せざるを得ない状況であったり、参加人数の制限を設けたため、活動実績及び利用者数が減少しました。
R4	新型コロナウイルス感染対策を講じながら、各種事業を実施しました。活動者数は前年度から大幅に増加しましたが、目標を達成することができませんでした。
R5	コロナ禍の活動抑制を見直し、コロナ禍前の活動スタイルを徐々に再開する方向で、事業を展開しました。活動者数の増加を目指し、参加者からの活動振り返りアンケートからニーズに合わせた事業を実施することや、コロナ禍により中止していた人権講演会や公開医療講座などの事業を再開しましたが、目標は達成できませんでした。
・評価及び対応方針	
R3	新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、会場利用制限の調整など工夫しながら事業を実施できるよう進めます。また、令和4年4月にリニューアルオープンした府中公民館では、定期活動グループ団体数を増加するよう取り組みます。
R4	今後も引き続き、生涯学習各期に応じた学習・交流機会の提供し、活動者数を増やしていきます。
R5	参加者からの振り返りアンケートを活用し、生涯各期に応じた学習講座に関するニーズを把握するとともに、幅広い世代の利用者が求める新規講座を検討し、実施します。また、児童センター活動者にヒアリングを実施するなど、公民館を利用したことのない方々のニーズも把握できるよう努めます。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	
	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	事業目標は未達成でした。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動中止や参加人数の制限を受ける中で、可能な活動は必要な感染対策を行い実施しました。
R4	事業目標は未達成でした。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動中止や参加人数の制限を受ける中で、可能な活動は必要な感染対策を行い実施しました。
R5	府中公民館の活動者数は、令和4年度のリニューアル・オープン以降、着実に増加しています。しかし、府中南公民館においては、コロナ禍以前のような活動者数の回復が見られず、未達成の要因となっています。
・評価及び対応方針	
R3	今後も、令和4年4月リニューアルオープンした新府中公民館及び南公民館の活動者が安心安全に利用できるように努めます。
R4	今後も引き続き、生涯学習各期に応じた学習・交流機会の提供し、活動者数を増やしていきます。
R5	公民館は、生涯学習の拠点となる重要な施設です。コロナ禍以前に活動されていたものの現在疎遠になっている方が活動を再開されるような取り組み、また、公民館を利用したことがない方を取り込むような取組みが必要であると考えます。

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報				総合戦略
事務事業の名称	図書館活動事業		事業番号	221102
担当部署名	教育委員会		社会教育課	
政策体系				
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり			
基本施策	2:学び合い生きがいを育む社会教育の充実			
単位施策	1:生涯各期に応じた学習機会の提供			

2. 活動実績	
年度	活動実績
R3	○ 図書資料を2,368点購入しました。 ○ 新型コロナウイルス感染防止のため、可能な範囲で各種イベントを開催しました。 ・乳幼児を対象としたおはなし会（42回） ・読書会（2回） ・講演会（1回） ・図書館まつりを開催 ・ボランティア養成講座開催（1回） ○ 学習用パソコンから予約した本を学校へ届ける取組みを行いました。（利用券交付：3校922人、本の送付：1校16冊） ○ パソコンやスマホで図書館だよりを見ることができるよう、図書館HPに掲載することとしました。 ○ 中高生向け図書館だより「Teens通信」の発行を始めました。（季刊） ○ 団体貸出を4,946点行いました。
R4	○ 図書資料を3,375点購入しました。 ○ 新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、可能な範囲で各種イベントを開催しました。 ・乳幼児を対象としたおはなし会（101回） ・読書会（4回） ・朗読会（10回） ・図書館まつり・本のリサイクル市（1回） ・ボランティア養成講座（1回） ・読み聞かせグループ交流会（1回） ・親子で楽しむおはなし会（1回） ・放課後児童クラブでのおはなし会（3回） ・夏休み調べ方講座（1回） ○ 学習者用パソコンから予約した本を学校へ届ける取組みを行いました。（利用券交付：5校320人（新入生）、予約本の送付：2校138冊） ○ 中高生向け図書館だより「Teens通信」の発行を年2回発行しました。 ○ 団体貸出を4,877点行いました。 ○ 生徒の読み聞かせボランティアを5回行いました。
R5	○ 利用者のニーズに応じた図書館資料の充実に努め、図書資料を3,378点購入しました。 ○ 図書館への来館を促し、読書への関心を育むため、各種イベントを企画、開催しました。 ・乳幼児と保護者を対象としたおはなし会（100回） ・読書や朗読の楽しさを分かち合う読書会・朗読会（読書会4回・朗読会12回） ・本のリサイクル市やボランティアによるおはなし会を行う「図書館まつり」（1回） ・図書館ホームページ等活用体験会（1回） ・夏休み調べ方講座（1回） ・ボランティア養成講座（3回） ・読み聞かせグループ交流会（1回） ○ 図書館と小中学校の相互協力を推進しました。 ・学習者用パソコンから予約した本を学校へ届ける取り組み（2校） ・団体貸出（7校） ・生徒の読み聞かせボランティア活動（4回）

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	貸出冊数	冊	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
			実績値	209,545	287,851	278,670		
			達成状況	未達成	未達成	未達成		
指標の設定方法		住民の学習・読書意欲に応えるため、貸出冊数を指標としました。						

4. コスト情報（決算） (単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	14,332	0	0	0	1,039	13,293
R4	13,170	352	0	0	36	12,782
R5	12,936	0	0	0	38	12,898
合計	40,438	352	0	0	1,113	38,973

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） R3:新型コロナウイルス感染防止対策のため、臨時休館等により開館日数が減少したことで、入館者数及び貸出冊数が減少しました。なお、減少要因が、コロナ関連だけでなく他の要因が考えられるため、図書館運営の分析等を行っていく必要があります。 R4:新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、図書館を運営しました。貸出冊数については、前年度から大幅に増加しましたが、目標冊数まで達成することができませんでした。 R5:コロナ禍の活動抑制を見直し、コロナ禍前の活動スタイルを徐々に再開する方向で、事業を展開しました。活動計画どおり取り組みましたが、指標の目標値である貸出冊数は前年度を下回り未達成となりました。
・評価及び対応方針	R3:新型コロナウイルス感染症などにより、図書館を取り巻く社会環境が変化する中、変化に対応した図書館事業の推進に取り組む必要があり、地域の実情にあった見直し等に取り組めます。 R4:引き続き、利用者からの予約・リクエストからニーズを把握し、蔵書計画に反映させ、年間貸出冊数の増加に努めます。 R5:貸し出し冊数の減少の大きな要因が絵本と青少年向け図書であったため、対象利用者からのニーズを把握し、図書館資料の充実を図り、貸出冊数の増加に努めます。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） R3:事業目標は未達成でした。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、臨時休館等により開館日数が減少しましたが、開館時には感染対策を十分に行い、運営しました。 R4:事業目標は昨年度より増加しましたが未達成でした。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、開館時には感染対策を十分に行い、運営しました。 R5:コロナ禍も明け、計画以上の事業を実施しましたが、貸出冊数には結び付かず、目標値未達成となりました。
・評価及び対応方針	R3:今後も、引き続き来館者が安心かつ快適に利用できるよう環境整備に努めます。 R4:今後も、引き続き来館者が安心かつ快適に利用できるよう環境整備に努めます。 R5:貸出冊数の増加へ向けた早期打開策を講じることは困難ですが、住民の学習・読書意欲に応える事業、更には学校教育・家庭教育に資する事業は展開できていると評価しています。

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

総合戦略

☐

事務事業の名称	ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト事業	事業番号	221103
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	2:学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策	1:生涯各期に応じた学習機会の提供		

2. 活動実績

年度	活動実績
R3	○ 令和4年度開始事業のため実績なし
R4	○ 小学校4年生～中学校2年生を対象に「歴史」・「自然」・「モノづくり」の3つのテーマで講座を実施しました。 ・歴史：下岡田官衙遺跡をテーマに、令和4年7月から9月にかけて合計5回の連続講座を実施しました。講座のうち1回は、下岡田官衙遺跡史跡指定記念シンポジウムに質問者として登壇しました。（参加者数6人） ・自然：令和5年2月から3月にかけて合計4回の連続講座を実施しました。水分峽に生息する生物の実態調査をはじめ、町における生物の現状や、過去の調査等を参考に府中町の自然について学びました。（参加者数10人） ・モノづくり：令和5年3月に合計3回の連続講座を実施しました。企業の協力を得て、モノづくりに関する体験型の講座を実施しました。（参加者数14人）
R5	○ 小学校4年生～中学校2年生を対象に「自然」・「モノづくり」の2つのテーマで講座を実施しました。 ・自然：令和6年3月に合計4回の連続講座を実施しました。野鳥、水辺の生物、植物など府中町の自然について学びました。（参加者数13人） ・モノづくり：令和5年11、12月に合計3回の連続講座を実施しました。企業の協力を得て、モノづくりに関する体験型の講座を実施しました。（参加者数 20人）

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
① 参加者数		人	目標値	-	20	30	30	30
			実績値	-	30	33		
			達成状況	-	達成	達成		
指標の設定方法		小・中学生を対象に、ふちゅうを学びふちゅうを好きになってもらうことが目的であるため、参加者数を指標としました。						

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	0	0	0	0	0	0
R4	130	65	0	0	0	65
R5	105	52	0	0	0	53
合計	235	117	0	0	0	118

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

R3:-

R4:新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、小・中学生を対象に「歴史」・「自然」・「モノづくり」の講座を計画通り実施することができ、目標を達成できました。

R5:小・中学生を対象に「自然」・「モノづくり」の講座を計画通り実施し、目標を達成できました。

・評価及び対応方針

R3:-

R4:今後も引き続き事業を実施し、ふちゅうを好きになる小・中学生を増やしていきます。

R5:今後も引き続き事業を実施し、ふちゅうを好きになる小・中学生を増やしていきます。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

R3:-

R4:事業目標は達成しました。
新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、国史跡指定記念シンポジウムの開催のほか、小・中学生を対象に「歴史」・「自然」・「モノづくり」の講座を開催しました。

R5:魅力ある内容により事業展開を図ったことから、目標値を達成しました。

・評価及び対応方針

R3:-

R4:今後も、自分たちが住んでいるまち、府中町に愛着や誇りが持てる子供たちを育成するために、小・中学生を対象に3つのテーマで継続的に講座を開催します。

R5:児童生徒が自分のふるさととして、ふちゅうの認識を深めることができる稀有な事業であると評価しており、継続することが肝要であると考えます。